

イントロダクション

この zine で紹介しているのは、わたしがここ数年のあいだに読んだり、見たりしてきた本や映画です。たいていは手に入れた時点で読んでいますが、買ったまま書棚に眠っていたものや、途中まで読んでそのままになってしまったものもあります。今回、「在日コリアンと南北朝鮮を知る」というテーマでリストをつくるため、記憶をたどったり、書棚を見渡したりしている中で、再発見して読み返したのものもありました。

この企画を思いついたのは、ZINE'S MATE というインディペンデントのブックフェアに参加するにあたって、このフェアにふさわしいジンをつくらうと思ったから。ZINE'S MATE は日本や海外のアートブックやジンを一同に集めて展示販売するお祭りです。それならば、日本の中のマイノリティであり異文化をもつ在日コリアンとその故郷である南北朝鮮に注目したジンはどうだろう。こうして一人プロジェクト、Korean book collection は始まりました。

わたしはここ数年、日本の報道や「世論」と言われるものが、隣国の北朝鮮を激しくバッシングしてきたことに心を痛めてきました。そしてその元になっている悪感情の多くが、意図的な情報操作や昔から日本にある偏見によって引き出されたものではないか、という疑いを抱いてきました。inter-national であることの意味は、national の外に意識が出ていくこと。リストに上げた作品の著者は、在日コリアン 4、帰化日本人 1、在外日本人 2、イギリス人 2、Korean American 1、(German) Korean 1 でした。日本国を「外からの目」で見直すことで、新しい目や芽が育ってくれればと思います。

葉っぱの坑夫・大黒和恵

2009年7月

もくじ

1. ディアスポラ紀行 (徐京植)
 2. ソウルーベルリン 玉突き書簡 (多和田葉子、徐京植)
 3. 私の祖国は世界です (玄順恵)
 4. 北朝鮮の人びとと人道支援 (日本国際ボランティアセンター)
 5. 韓国人から見た北朝鮮 (呉善花)
 6. ノレ・ノスタルギーヤ (姜信子)
 7. 北朝鮮へのエクソダス (テッサ・モーリス＝スズキ)
 8. 最後の場所で (チャンネ・リー)
 9. ナショナリズムの克服 (姜尚中、森巢博)
 10. 奇蹟のイレブン (ダニエル・ゴードン)
- 付録：ヤールー川はながれる (ミロク・リー)